

公益財団法人東京都医学総合研究所
2025年臨時評議員会 議事録

- 1 開催場所/形式 (公財) 東京都医学総合研究所 (東京都世田谷区上北沢2-1-6) /Web 会議
- 2 開催日時 2025年3月21日(金) 午後4時00分～午後4時16分
- 3 評議員現在数 現在数 12名、定足数 7名
及び定足数
- 4 出席評議員 10名
出席：荒木ちはる(荒木千陽)、さんのへあや(三戸安弥)、
林あきひろ(林明裕)、大隅良典、篠田義一、田邊英一
平川博之(議長)、水澤英洋、柳橋礼子、吉原宏幸
欠席：吉村和久、清古愛弓
- 5 監事現在数 現在数 1名
及び出席監事 出席：山内健生
- 6 同席者 副理事長：後藤啓志、所長兼理事：正井久雄 事務局長：齋藤善照
庶務課長：石田威、 研究推進課長：乙竹久彰
- 7 議案 (議決事項)
第1号議案 役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について
第2号議案 役員の選任について

8 議事

(1) 開会

齋藤事務局長が、出席予定者が揃ったところで、配布資料の確認と各評議員を紹介した。評議員12名のうち10名が出席しており、定款第20条第1項に基づく定足数を満たしている旨を報告した。また、昨年10月に逝去された遠藤玉夫評議員へのお悔やみの言葉を述べた。

その後、出席評議員の互選により、平川評議員が議長として選任され、平川議長が評議員会の開会を宣言した。

(2) 議事録署名人の選出

平川議長が柳橋評議員と吉原評議員を議事録署名人に選出し、議長本人とあわせて計3名で議事録署名することが了承された。

(3) 議案の審議状況及び議決の内容

[議案説明]

第1号議案 役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について

齋藤事務局長が、常勤役員の報酬額の改定と、役員業績評価結果にもとづく常勤役員(副理事長)の報酬額の変更について資料に基づき説明した。

第2号議案 役員の選任について

齋藤事務局長が、新たな理事の候補者について説明した。

成田友代氏は、当財団での監事経験があり、当財団の東京都における所管局である保健医療局にて、長きにわたって保健医療行政の要職を歴任してきたことから、当財団の役員として適任で

あると説明した。なお、就任日は2025年3月22日とする。

[質疑等]

第1号議案 質疑なし

第2号議案 質疑なし

[議決]

第1号議案について、出席者全員の賛成により、原案のとおり議決された。

第2号議案について

成田友代氏は、出席者全員の賛成により理事に選任された。

(4) その他評議員からの発言 等

大隅評議員：医学研を設立から見守ってきたが、故田中理事長のおかげで短期間のうちに国際的にも有名な研究所となったと思う。基礎科学と臨床応用とを融合させて発展できたのは東京都の支援があつてのことで、都と研究員が一体となって初めて可能だった。これからもこの火を絶やすことのない運営を理事や所長に強く願う。

水澤評議員：医学研は基礎医学のみならず、臨床、社会医学で素晴らしい成果を上げており、これは故田中理事長のリーダーシップによるもの。今後選任される理事長には田中先生に匹敵するような素晴らしい方に早く就任してもらい、医学研がますます発展するように期待している。

篠田評議員：東京都の厚い保護のもと、研究と行政がうまくいっていることは海外や一流の研究者からも称賛されている。自分の所属してきた国立大学等では実現が難しい面も乗り越えて、基礎と臨床がお互いに助け合いながらうまくいっていると思う。最近ではトランスレーショナルな研究を求められるなか、田中先生を中心に発展してきた。田中先生が逝去されて状況を乗り越えるのは難しいと思うがこれまで同様、研究者と行政が手を携えて、他の大学ではなかなかできない小回りのきく研究、行政にマッチしたような仕事ができるような研究所でありつづけてほしい。今までの研究所はとても理想的に動いていたので今後もそのような研究所であってほしい。

(5) 事務局からの連絡事項 等

齋藤事務局長が、出席した評議員へのお礼を述べた。

(6) 閉会

議案の審議等を終了したため、午後4時16分に平川議長が評議員会を閉会する旨を宣言した。

以上の議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、署名捺印する。

2025年 3 月 21 日

議長 平川 博之

議事録署名人 吉原 宏幸

議事録署名人 柳橋 礼子

本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
公益財団法人東京都医学総合研究所 副理事長 後藤啓志